

[北方林業研究室]1. 天然生ミズナラ二次林除伐試験

青木, 尊重
九州大学農学部附属演習林 : 助教授

中島, 誠
九州大学農学部附属演習林 : 助手

今田, 盛生
九州大学農学部附属演習林 : 教務員

<https://doi.org/10.15017/1456197>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和39年度, pp. 72-74, 1965. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :



． 北方林業研究室

1. 天然生ミズナラ二次林除伐試験

青 木 尊 重 中 島 誠
今 田 盛 生

I 研究の目的

近年、北海道森林の圧倒的大部分を占める天然生林に対する施業の問題が大きくとりあげられて、各種の試験が進められており、本演習林には北方林の有用広葉樹であるミズナラ林しかもその二次林が非常に多いので、このミズナラ林に対する施業法の体系的試験、研究を行うことは、本演習林として、きわめて重要な任務である。

その施業体系のうち、本試験は天然生ミズナラ二次林に対する除伐法を確立することを目的とする。

II 方 法

昨年度も除伐試験地を3箇所設定したのであるが、本年度の試験地設定方法は、その同一方法により設定した。すなわち、10～20年内外までの時期を除伐期とし、この期間における除伐方法、除伐繰返し年等を研究するため、次の第1表の如く、3～4個のプロットよりなる3試験地を設定した。なお、10年、15年、20年の夫々に1試験づつとした。昨年度、第1～3除伐試験地の設定を完了しているので、本年度は第4～6除伐試験地とする。

第1表 試験地および試験区

試 験 地	位 置	試 験 区	推定林令
第4除伐試験地	5林班	I II III	21年
第5 "	5林班	I II III	13年
第6 "	3林班	I' I II III	16年

ただし、第I'、I、II、III試験区とは各試験地内の立木を

- ① 暴れ木となる可能性のあるミズナラ
- ② ミズナラより成長の大きい他樹種
- ③ 蔓 類

④ 形質、樹種の特に不良なもの

⑤ 被圧された萌芽木

⑥ 優良木

の如く区分した場合①～⑤を除伐対象とするが、次の第2表の如く伐除するものである。除伐度は本数除伐率を基準とするものである。

第2表 各試験区の除伐木および除伐度

試験区	除伐度	本数除伐率(%)	除 伐 木
第Ⅰ'試験区	稍強度	42.5～ <u>45.0</u> ～47.5	①, ②, ③の他 ④, ⑤の大部分
第Ⅰ "	中庸度	27.5～ <u>30.0</u> ～32.5	①, ②, ③の他 ④の一部
第Ⅱ "	弱 度	7.5～ <u>10.0</u> ～12.5	①, ②, ③
第Ⅲ "	対照区	保 存	

Ⅱ 経 過

昭和39年7月下旬～8月中旬に試験地分画および除伐木の選定を実施し、除伐木の伐除を同年9月に終了した。昨年度設定した第1～3除伐試験地を参考のため合せて次に試験地概要をあげる。

Ⅳ 今後の見通し

10年生、15年生、20年生のミズナラ二次林に夫々2個ずつの試験地を昭和38、39年度にわたって設定したのであるが、5年毎に夫々成長状態を調査して、ミズナラ二次林に対する除伐方法等を確立したい。

1964. 11. 13

第3表 除伐試験地設定概要

試験地 設定年月日 推定林令	第1除伐試験地				第2除伐試験地				第3除伐試験地			
	1963. 7. 28 17年生				1963. 7. 28 13年生				1963. 7. 29 23年生			
	第1試験区	第2 "	第3 "	第3 "	第1試験区	第2 "	第3 "	第3 "	第1試験区	第2 "	第3 "	第3 "
面積 (ha)	0.023	0.021	0.031	198	0.015	0.019	0.022	0.020	0.179	0.113	0.031	
全本数	135	146	198		178	359	237	267	1,059	856	191	
ha当本数	5870	6952	6383		11,867	18,895	10,723	13,350	5,916	7,575	6,162	
除伐木本数	38	13	—		73	120	23	—	299	94	—	
本数除伐率	28.1%	8.9	—		42.7%	33.4	9.7	—	28.2%	11.0	—	
全材積	1,438	1,079	1,332		0,486	0,605	1,059	0,828	13,278	6,572	2,143	
ha当材積	62.43	51.38	42.97		32.40	31.84	45.14	41.40	74.13	58.16	69.13	
除伐木材材積	0.541	0.208	—		0.215	0.259	0.238	—	4.719	1.923	—	
材積除伐率	37.6%	19.3	—		44.2%	42.8	22.5	—	35.5%	29.3	—	

試験地 設定年月日 推定林令	第4除伐試験地				第5除伐試験地				第6除伐試験地			
	1964. 7. 26 21年生				1964. 8. 10 13年生				1964. 8. 19 16年生			
	第1試験区	第2 "	第3 "	第3 "	第1試験区	第2 "	第3 "	第3 "	第1試験区	第2 "	第3 "	第4 "
面積 (ha)	0.019	0.019	0.015		0.014	0.010	0.009		0.017	0.017	0.011	0.013
全本数	200	201	152		233	213	124		190	165	160	144
ha当本数	10,420	10,823	10,040		17,132	21,515	14,253		11,310	9,649	15,238	10,992
除伐木本数	63	15	—		57	17	—		75	46	16	—
本数除伐率	31.5%	7.5	—		28.8%	8.0	—		45.5%	27.9	10.0	—
全材積	1,485	1,412	1,275		0,644	0,359	0,357		1,086	1,437	0,733	0,764
ha当材積	78.42	74.32	85.00		46.00	35.90	39.67		63.88	84.53	66.64	58.77
除伐木材材積	0.635	0.173	—		0.169	0.120	—		0.435	0.618	0.177	—
材積除伐率	42.6%	12.3	—		26.2%	33.4	—		40.1%	43.0	24.1	—